

渡辺精密工業株式会社



CNCジグ研削盤



製造現場メンバー



様々な形状の部品を作ることが可能

ベテランから次世代へ
高難度の職人技術の
伝承を目指して

DATA：わたなべせいみつこうぎょう



製造部JG担当：近藤寿美

設立年月日：昭和22年10月
住 所：〒455-0831 名古屋市港区十一屋一丁目59-1
電 話：052-383-8282
F A X：052-383-8324
U R L：http://www.WSL-G.co.jp/
E - M a i l：info@WSL-G.co.jp
資 本 金：2,400万円
業 種：機械工具製造業
従 業 員 数：52人

モノづくり業界を支える技術力

渡辺精密工業株式会社の顧客は航空宇宙業界、自動車業界、電子部品業界、家電業界など日本のモノづくり企業全般であり、そこで使用されるゲージの設計・製造・販売を主力に、加工治具、金型部品及び測定器等の設計・製造・販売も手掛けている。同社の強みはミクロン単位の切削、研削、放電加工・測定計測が可能であり、かつ丸形状、四角形状、自由形状、単品、組み立て品などあらゆるニーズに総合的に対応できることである。航空宇宙業界や自動車業界に使用される治工具（測定治具や加工治具類）は12分野の「精密加工」や「測定計測」にかかわる技術を多用した複雑な技術を用いて製造されており、部品数1点から数十点の組付け治工具など様々なもののオーダーメイドでの製作に定評がある。特に航空

宇宙業界では自由形状で構成されるものが多く、耐久性向上のため焼入処理も行うことから、高度な研削加工工程が必要となる。この工程で求められる高い研削技術と精度などの顧客ニーズに応えるなかで成長を続け、70年を超える実績を有している。

加工の効率化と技術伝承

既存の設備により高精度の研削加工結果を出すには高い職人技術が必要となるが、この職人技を持つのはベテラン社員を中心としたメンバーであり、若手社員が自由形状加工を行うには機械の性能面で課題を有した。また、旧式の機械にはいくつかの制限が加わり、使いこなすためにはより多くの経験値と高度な技術を必要とした。これらの解決を図るため新たな設備を導入し属

人化を解消することに挑戦した。

「平成29年度補正ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」を活用し、最新のCNCジグ研削盤を導入し、①装置操作性に関する課題、②加工熱変形が発生しやすく、加工技術量が出来栄を大きく左右することの課題、③機械精度と機械剛性が低く、砥石の性能を活かしきれない課題の3点を解決した。

最新設備の導入により操作性は改善され、比較的難易度の低い加工ではCAD/CAMを使用しなくても、安定した精度を保持できるようになったほか、使いこなせる社員の幅を広げ、生産性の向上に寄与した。また、既存設備では加工熱により、製品が変形してしまう恐れがあり、注意が必要であったが、冷却機能が追加されたため、変形は最小限に抑えられることから工数の低減に繋がった。更に、高度な技

術と経験を要する作業工程を、ベテラン社員から基礎技術を受け継ぎながら若手が担い、習熟度の向上と高精度の追求が図られた。

若者の定着率向上と成長

新設備の導入と設備操作手順書の作成により次世代を担う社員へ高難度の製品の製造業務の継承を推進し、業務に取り組む意欲が増した結果、定着率も向上し、3年以内の新卒採用者離職率はゼロとなった。人材が定着し技術力が向上したことにより、一層の品質の安定化と生産性の向上を目指すとともに、他業界向けの加工技術も習得できたことから優位性を持って事業を拡大し、更なる売上の増大と技術の伝承が図られることが期待される。



オーダーメイドで製作中